電気設備工事特記仕様書

工事概要	1．工事名称	笛吹市消防団春日居分団第六部拠点施設新築工事（電気設備工事）					
	2．工事場所	山梨県　笛吹市　春日居町　徳条　１０－４番地の一部					
	3．建築概要	敷地面積	５６．１４	㎡	用途地域		
		建築面積	２６．６０	㎡	防火地域		
		延床面積	４７．３２	㎡	防火対象物の区分	消防法・令・別表 １６項	
		最高高さ	建築図参照	m	建物用途	消防団待機所	
	4．構　　造	鉄骨造　２階建て					
工事項目	1．幹線設備	電力引込み、盤類の取付、幹線配線工事、接地工事一式					
	2．電灯設備	スイッチ、照明器具等の取付、並びに電灯配線工事一式					
	3．コンセント設備	コンセントの取付、並びにコンセント配線工事一式					
	3．地区スピーカー移設	既設地区スピーカーの移設工事一式					
	※　尚、詳細は図面の通りである。						
施工基準	1．本設備工事は、特記仕様書、設計図に依ると共に、下記施工基準に準拠し、完全に施工するものとする。						
	国土交通省電気設備工事共通仕様書、標準図、監理指針（最新版）		建築基準法	消防法			
	電気設備技術基準	内線規程・配電規程	ＮＴＴ電話配管工事規則				
	その他関係政省令	現場説明書、監理監督員（以下監督員という）の指示事項					
一般事項	1．本設備工事は、当該建築物に本事項及び、施工基準に従って電気設備の一式を施工するもので、技術的に完全に行うと共に、						
	各申請手続きも遅滞なく請負者が代行し、これらに要する費用は全て本工事に含むものとする。						
	2．本設備図書は、工事の概要を示すものであるから、施工者は着工前に十分なる理解の上、速やかに実施工程表及び						
	施工図面、製作図面を提出し監督員の承認を得るものとする。						
	3．工事の進行状態に応じて疑義が生じた場合及び、細部不明の際は速やかに監督員と協議の上着手する。						
	4．監督員協議のもとに行う軽微な変更については，請負金額の増減は行わないものとする。						
	5．本設備工事に使用する材料、製品は別記指定製作者新品とし、監督員と協議、承認を受けたものとする。						
	又、機器の製作に対しては、製作図を提出、承認を得てから製作すること。　機器の搬入に際しては、立合検査及び試験を						
	行い合格した後に搬入すること。ただし、軽易な機器については、この限りではない。						
	6．工事現場の安全衛生に関する管理は、現場代理人が責任者となり、関連法令などに従ってこれを行う。						
	ただし、別に責任者が定められた場合は、これに協力するものとする。						
	7．図面に特別指示なくも技術上、構造上、美観上、当然必要と認められるものは、請負者負担において						
	良心的に行うものとする。						
	8．本設受電後、引渡しまでの電気基本料金及び使用料金は、本工事に含むものとする。						
	9．その他細部については、監督員の指示による。						
工事範囲	1．設計図書，現場説明書，工事契約書による．						
提出書類	1．工事工程表他関係書類	2．施工詳細図	3．メーカーリスト	4．機器製作承認図	5．竣工図面（完成図）		
	6．施工、竣工写真	7．各種試験成績書	8．申請届出関係書類	9．取扱説明書、保証書			
	10．現場説明書、監督員の指示するもの。						
凡例	1．ＪＩＳ－Ｃ－０３０１，０３０３に準拠する．（詳細は、各図面記入による。）						

工事区分	1．電力会社工事負担金	（別途工事）	※　負担金の有無、金額を調査の上、監督員及び施主に提示すること。				
	2．ＮＴＴ工事負担金	（別途工事）	※　〃				
	3．電波障害に関する工事費	（別途工事）					
	4．電話機器取付及び配線工事	（別途工事）					
	5．警備機器取付及び配線工事	（別途工事）					
	6．天井に設ける点検口	（建築工事）					
	7．その他監督員の指示によるもの						
特記事項	※下記項目中、本電気設備工事に関わる機器仕様及び施工方法を適用すること。						
	・本工事に使用する電線、ケーブル類は、エコケーブルとする。						
	・設計図中の付記なき電線管は、合成樹脂可とう管とし、すべてＰＦ一重管を使用する。　又、ボックス及び附属品等もＰＦ管用とする。						
	・波付硬質ポリエチレン管は難燃性とし、地中より盤への露出立上り部分は、異種管接続材を使用し厚銅電線管等にて施工すること。						
	・接地極埋設箇所には埋設位置、施工年月及び抵抗値等を記入した接地極埋設標示板（黄銅製・建設省形）を取付けること。						
	・接地工事において、ＥＡ，Ｄ・ＥＢ種は、銅板式（銅板９００角×１．５ｔ－１）＋打込式（１４Φ×１５００－必要数）とし、						
	ＥＤ種は、打込式（１４Φ×１５００－必要数）とする。また測定ＥＯ種は、打込式（１４Φ×１５００×１）とする。						
	・ハンドホール、プルボックス等の電線・ケーブルには、プラスチック板に電圧、配線サイズ、用途、行先、施工年月日及び						
	施工者名を記入した黒色刻字の名札を取付けること。又、ケーブル本数等を考慮し、ケーブル金物にて支持すること。						
	・寸法明記のないプルボックス，又は図示無き箇所に使用するボックス類は全て内容積充分な物を使用すること。						
	・防火区画貫通部は、耐火措置（ＢＣＪ認定工法）を施すこと。						
	・重量の大きい照明器具、機器等はスラブその他の構造体より呼び径９mm以上のボルトなどで堅固に支持すること。						
	・配線器具は、ＪＩＳ連用大型とし、プレートは樹脂製とする。						
	・スイッチは、全てネーム（印刷文字）とする。						
	・原則として、特記なきスイッチの取り付け高さはＦＬ＋1,300（和室ＦＬ＋1,000）、コンセントはＦＬ＋300（和室ＦＬ＋150）とし、						
	弱電プレート類も同様とする。但し、カウンター上コンセント、設備機器用コンセント等は、現場協議による。						
	・Ｈｆ３２Ｗ以上、インバーター形蛍光灯器具、放電灯器具、防水形器具等の金属部分及び、安定器別置の場合の安定器外箱には、						
	Ｄ種接地工事を施すこと。						
	・漏電遮断器で保護されている電路と、保護されていない電路の接地線及び接地極は、共用しないこと。（内規１４０－１３）						
	・見えがかり上、塗装を要する露出配管、ボックス類はＯＰ２回塗り指定色仕上げとする。						
	・電源の必要な機器（施主工事・建築工事・機械設備工事等）への電源供給は、すべて本工事とする。						
	・空調、衛生設備機器容量は，現場打合せにより再確認し，各基準に準拠するよう施工すること。						
	・空配管には、すべて導入線（ビニル被覆鉄線１．２mm）を挿入し、各種カバープレートには、用途表示を行うこと。						
	・外壁面取付の位置ボックスは、結露防止対策品（ＰＤボックス等）を使用する。						
	・各盤には図面ホルダーを設け、結線図等（透明ケース入り）を収納すること。　又、自立盤等の据付には、耐震を考慮すること。						
	・各種メーカー特有の建材及び機器の設置については本特記仕様書及び共通仕様書のよる他，メーカー仕様に基づき施工のこと。						
	・本設計図のうち、機器姿図等に記入の寸法・形状等は参考とする。又、メーカー型番は同等品とする。						
	・引渡し後であっても、納入品及び工事の欠陥に基づく故障又は事故発生に対しては、請負者の負担に於いて、無償にて遅滞なく修復し、						
	事故に関してはその補償を負うものとする。						
メーカーリスト	機器品名	製造者名	製造者名	製造者名	製造者名		
	電線・ケーブル類	三菱	日立	矢崎	住友	他JIS規格品又はJCMAマーク表示品	
	電線管類	外山	松下	未来	住友	他JIS規格品及びJISマーク表示品	
	ボックス・支持材類	東洋化学	松下	未来	ネグロス	他JIS規格品及びJISマーク表示品	
	配、分電盤　類	新星	ユタカ	誠和	松下	他指示による	
	照明器具類	三菱	松下	岩崎	東芝	他指示による	
	配線器具類	神保	松下	寺田	東芝	他指示による	

特記事項
1
2
3
4

承認	所長	担当	設計

縮尺 S=N

設計年月日

工事名称　笛吹市消防団春日居分団第六部拠点施設新築工事

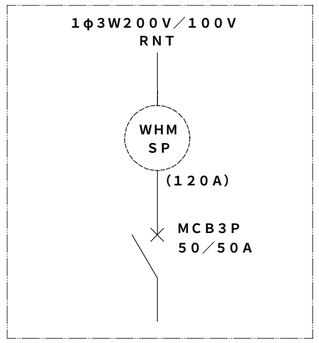
図面名称　電気設備特記仕様書

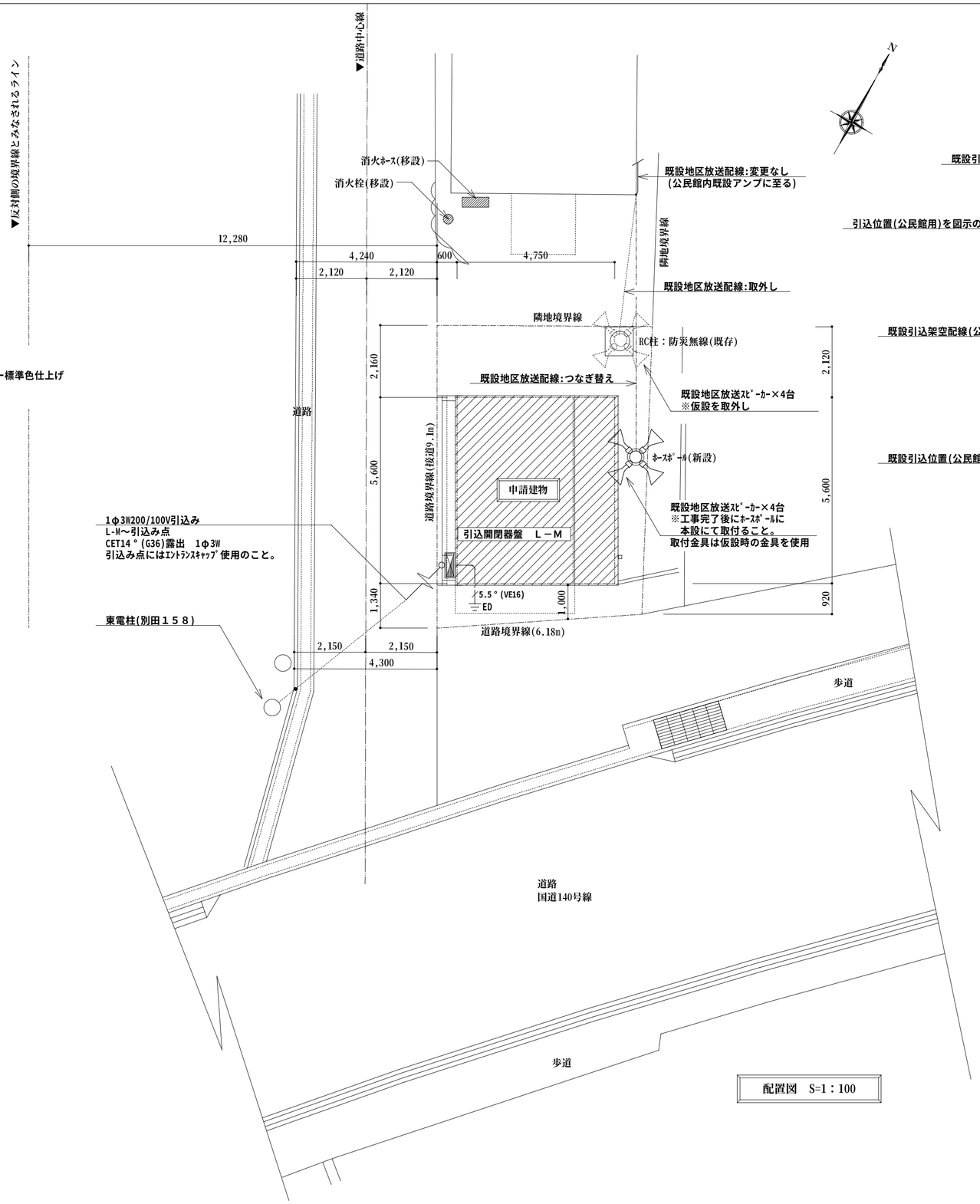
E－1

No

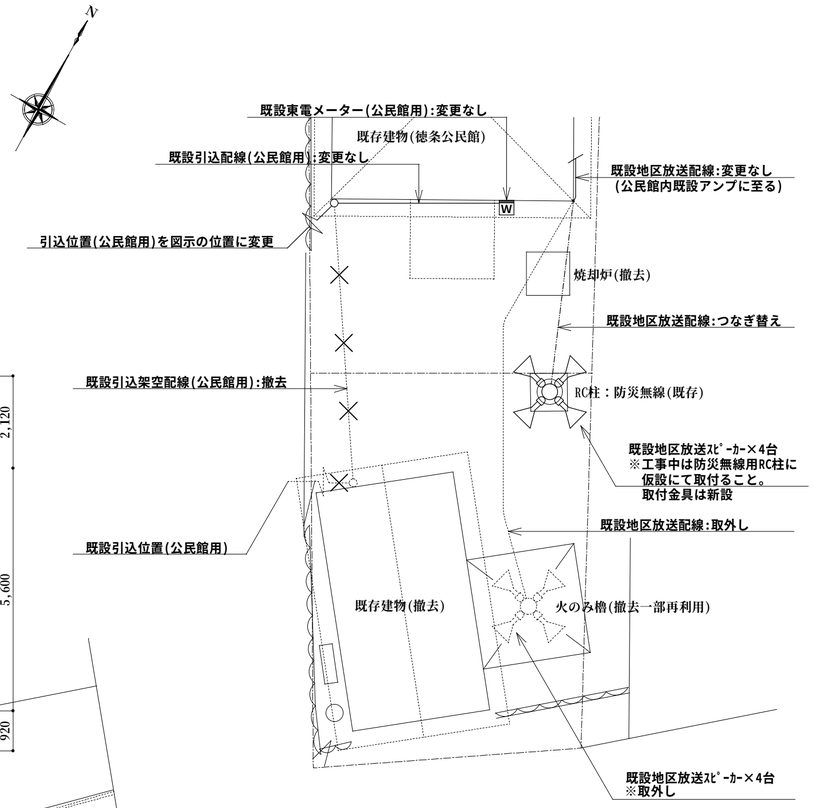
引込開閉器盤　Ｌ－Ｍ

※ 壁掛型　鋼板製　防水型　メーカー標準色仕上げ





配置図　S=1：100



既存配置図　S=1：100

地区スピーカーの移設工事手順は下記による。

①既存火のみ櫓(撤去)から取外す。

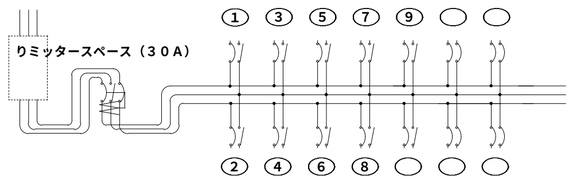
②工事期間中は防災無線用RC柱(既存)に仮設にて取付る。

③工事完了後にﾎｰｽﾎﾟｰﾙ(新設)に本設にて取付る。

上記工事に伴う配線の取外し及びつなぎ替えを行う。

特記事項		承認	所長	担当	設計	縮尺	工事名称	笛吹市消防団春日居分団第六部拠点施設新築工事	E－2
	1					S=1:100			
	2					設計年月日	図面名称	配置図　引込開閉器盤結線図	No
	3								
	4								

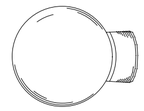
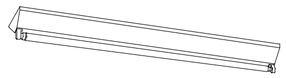
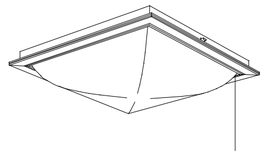
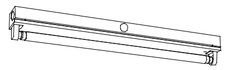
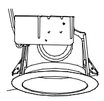
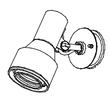
1φ3W 100V／200V
L−Mより CET14°



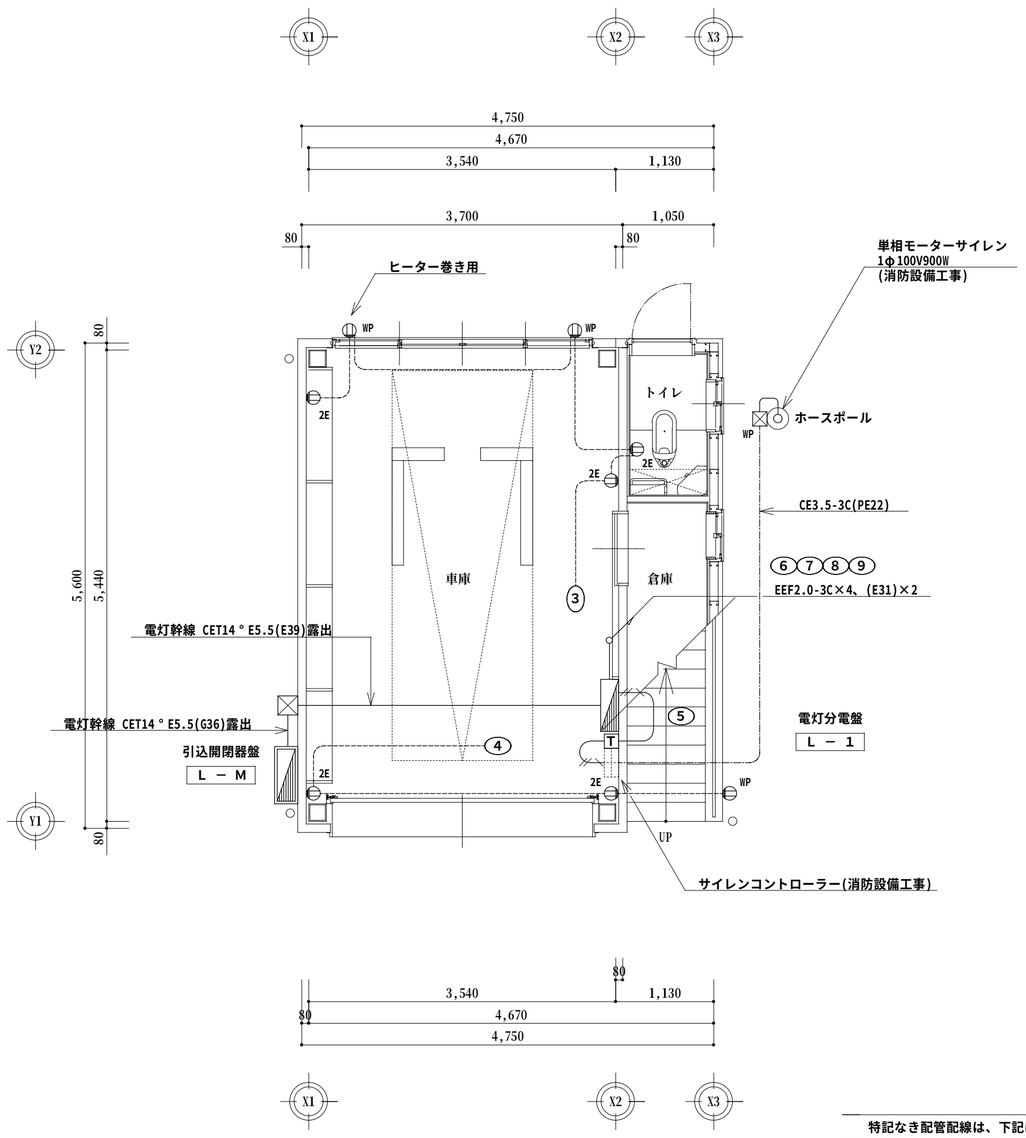
主　　幹　ELB3P50／50AT×1
二次側分岐　2P1E　30／20AT×10
二次側分岐　2P2E　30／20AT×4
避雷器及び保安灯（ヒューズ共）付

※壁掛型　ボックス：鋼板製　ドアカバー：樹脂製　メーカー標準色仕上げ
コスモパネルコンパクト21かみなりあんしんばん　相当品

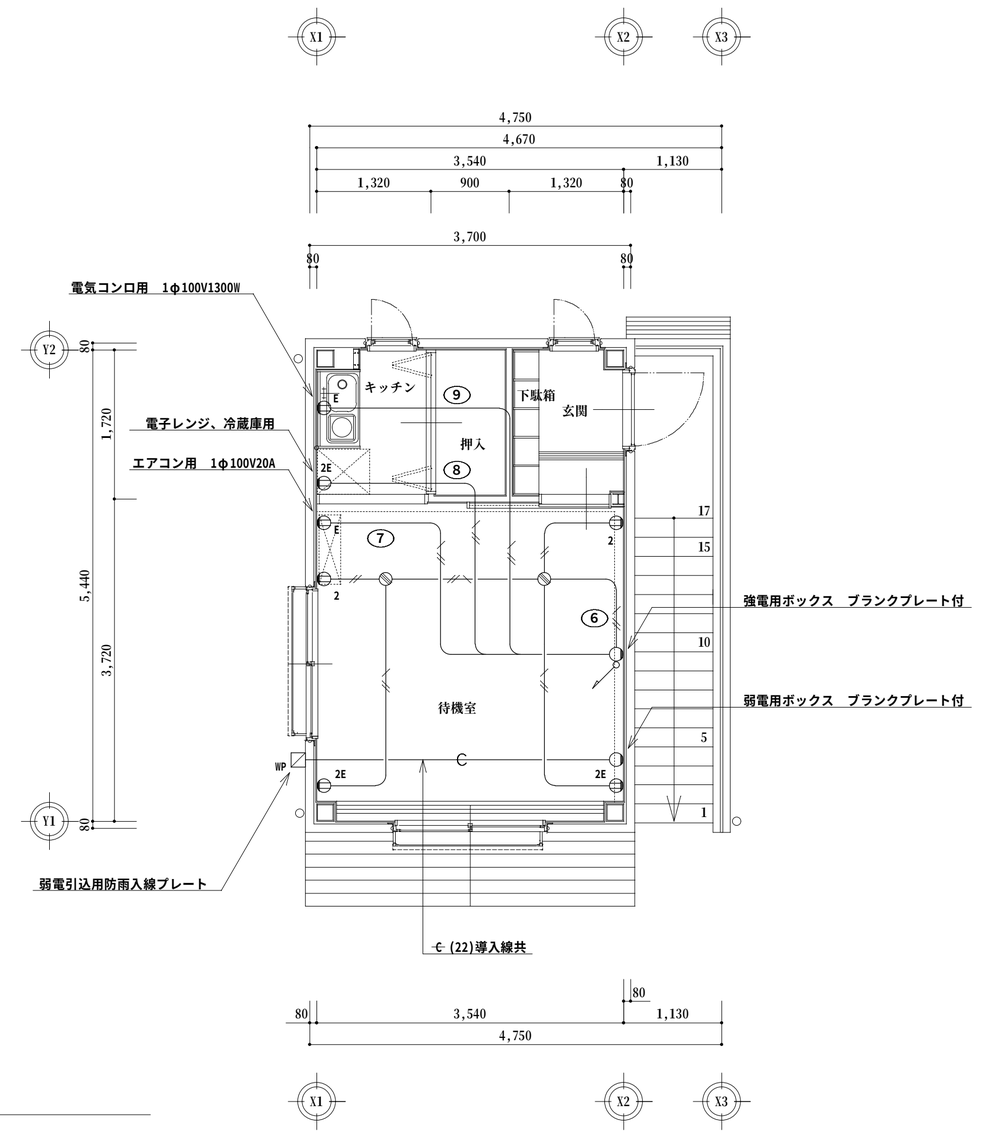
電灯分電盤　　L－1

A	EFD15W×1　赤色灯	B	FL20W×1　ウォールライト	C	FHF32W×2　コーナーライト
					
LA56418K　相当品	防雨型 グローブ：赤色ガラス	FBF2−201GL		FBS6−321PH	
D	FHF32W×1　富士型	E	FHD100W×1　シーリングライト	F	FHF16W×1　笠なし
					
FSS9−321PN		HFA8515K EP　相当品	カバー：アクリル 木製（白木）	FSS8−161PN	
G	EFD15W×1　ダウンライト	H	EFD25W×1　スポットライト		
					
HEA1345KE　相当品		HEW2082KE　相当品			

特記事項	1	2	3	4		承認	所長	担当	設計	縮尺 R S=N	工事名称	笛吹市消防団春日居分団第六部拠点施設新築工事	E−3
										設計年月日	図面名称	電灯分電盤結線図　照明器具姿図	No



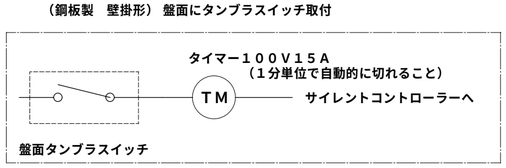
1 階 平 面 図



2 階 平 面 図

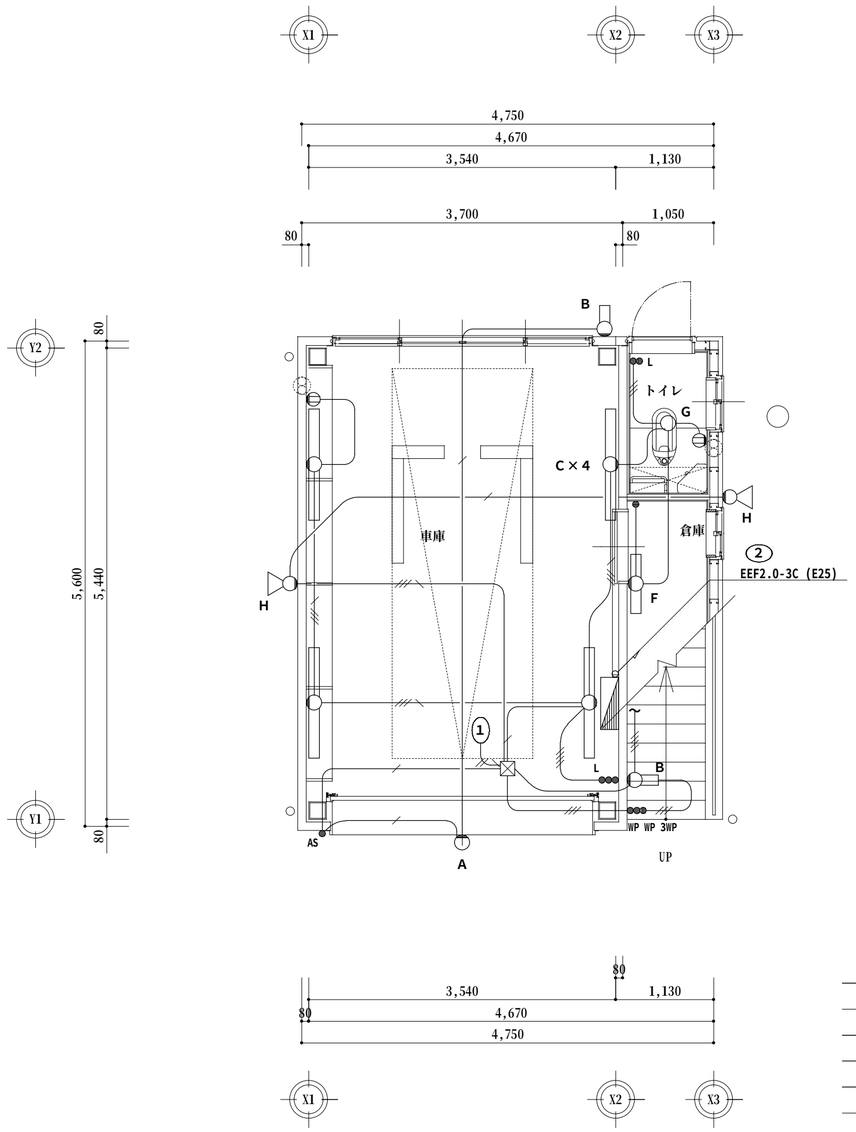
T タイマースイッチ盤

（鋼板製 壁掛形） 盤面にタンプラスイッチ取付

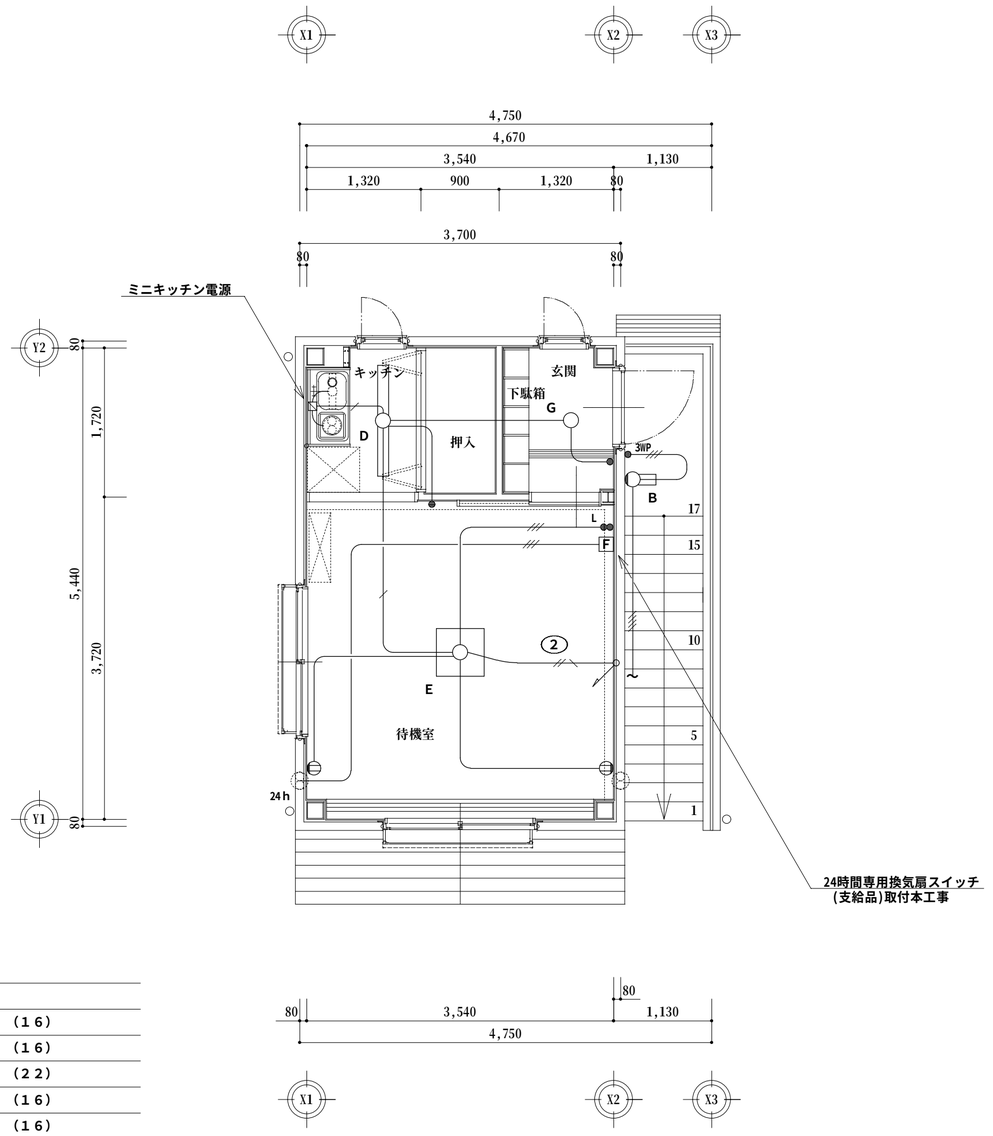


特記なき配管配線は、下記による。	
----------	ＩＥ２．０×２ Ｅ２．０（１６）
但し、壁露出立上り等は（Ｅ１９）にて保護とする。	
——//^——	ＥＥＦ ２．０－３Ｃ（１Ｃ接地線）
——// ——	ＥＥＦ ２．０－２Ｃ
但し、壁内引下げ等必要に応じ、適合ＰＦ管にて保護とする。	
特記なき機器仕様は、下記による。	
(WP)	防水コンセント ２Ｐ１５Ａ×２ ＥＴ付 抜止形
(2E)	コンセント ２Ｐ１５Ａ×２ ＥＴ付
(E)	コンセント 接地付 ２Ｐ１５Ａ×１
(2)	コンセント ２Ｐ１５Ａ×２

特記事項		承認	所長	担当	設計	縮尺	工事名称	笛吹市消防団春日居分団第六部拠点施設新築工事	
1						S=1:50			
2						設計年月日	図面名称	幹線・コンセント設備 １階・２階 平面図	E－4
3									No
4									



1 階 平 面 図



2 階 平 面 図

特記なき配管配線は、下記による。

ＩＥ２．０×２ Ｅ２．０	（１６）
ＩＥ１．６×２ Ｅ１．６	（１６）
ＩＥ１．６×３ Ｅ１．６	（２２）
ＩＥ１．６×２	（１６）
ＩＥ１．６×３	（１６）
ＩＥ１．６×４	（２２）

但し、二重天井内は、ＥＥＦケーブル配線とする。

特記なき機器仕様は、下記による。

L	パイロットスイッチ （換気扇）
3WP	防雨３路スイッチ （外廊下階段）
WP	防雨スイッチ （外スポット）
AS	自動点滅器 100V3A （外壁灯制御用）
	コンセント 2P15A×1（換気扇）

特記事項	
1	
2	
3	
4	

承認	所長	担当	設計

縮尺 S=1:50

設計年月日

工事名称 笛吹市消防団春日居分団第六部拠点施設新築工事

図面名称 電灯設備 １階・２階 平面図

E－5

No

特　記　仕　様　書

工事名称	笛吹市消防団春日居分団第六部拠点施設新築工事（機械設備工事）
工事場所	笛吹市春日居町徳条１０－４
工事範囲	設計図書・現説・工事契約書に依る。
建物概要	鉄骨造２階建　延床面積　４７.３２㎡
一般事項	１．本工事は、本設計図、特記仕様書、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）平成１６年版
	同標準図、機械設備工事監理指針（平成１６年版）に基づき、諸官庁関係法規に準拠して施工する。
	２．本工事に於て、図面・本仕様書に疑義が生じた場合、及びそれに明記なきものでも技術上当然必要なもの、並びに軽微な変更は
	監督員と協議の上誠実に施工するものとする。　但し、費用は請負人の負担とする。
	３．本設計図は、工事概要を示すものであるから、請負人は充分なる理解の上、工事着手前に工程表・機器承認図等を提出し、
	監督員の承認を得る事。
	４．本工事請負人は建築工事工程表入手後、速やかに設備工事工程表を作成提出し、関連工事の進捗に支障なき様努め
	監督員の要請を受けたる場合は、詳細工程表、逆算工程表を遅滞なく提出すること。
	５．本工事に於いて、不良資材、施工不良等に起因する機能不全を生じたる場合は、再度その責任に於いて資材の取り替え、
	修理等を無償で行うこと。
	６．工事完成時には、機器取り扱い説明書・保証書・各申請書類・試験表・竣工図・工程写真・完成写真等を提出すること。
	尚、内容・部数等詳細については、監督員の指示に従うこと。
優先順位	１．諸官庁の法令・規則・施工令等　２．現場説明書　３．特記仕様書　４．設計図
	５．国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）平成１６年版』
工事項目	１．衛生器具　設備工事
	２．給　水　設備工事
	３．排　水　設備工事
	４．冷暖房　設備工事
	５．換　気　設備工事
特記事項	○　給水管埋設深さ　別紙埋設断面図参照
	○　屋外埋設給水管の主要な曲がり部分には、埋設表示柱を設置する。（舗装部分～鉄ピン製、未舗装部分～コンクリート製）
	○　バルブ仕様．　給水管用～ゲート弁（ＪＩＳ１０ｋ品）又は水道局指定品
	○　不凍栓はＭＴ型４００Ｌを使用し、浸透効果を高めるため排水ブロック（２５０型）を設置すること。
	○　塩ビライニング鋼管の管端部分は、管端防食継手（コア入り）を使用すること。
	○　土間下埋設配管は沈下防止のため、それぞれの管種に応じ天井配管と同ピッチで土間配筋より吊ること。
	○　屋外機器類に使用する鋼製架台等は溶融亜鉛メッキ仕上とし、ボルトナット、アンカー類はステンレス製とする。
	○　衛生陶器の色は標準色同価格品とし、係員と協議の上決定する。
	○　給水工事は管轄水道局規定に準拠して施工のこと。
	○　円形ダクトは原則としてスパイラルダクトとし、機器接続部等現場の納まりに依り、アルミフレキダクトを使用しても良い。
保温塗装防食仕様	○　保温，塗装，防食仕様は、公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）平成１６年版に準じて施工のこと。
	○　内壁及びライニングブロック内立上り給水管保温はポリエチレンパイプカバー（ワンタッチチューブ）１０mm厚保温筒とする。
	但し外壁面内は２０mm厚とする。
	○　湯沸室及び厨房の給排気ダクトは全て断熱防露施工のこと。（保温材はロックウール又は防火認定品を使用のこと）

凡例			
	給水管	——－——HI	耐衝撃性硬質塩ビ管　ＪＩＳ－Ｋ－６７４２（ＨＩＶＰ）　屋外地中部分
	給水管	——－——A	内外面塩ビライニング鋼管　ＪＷＷＡ－Ｋ－１１６（ＶＤ）　屋内地中部分
	給水管	——－——A	内面塩ビライニング鋼管　ＪＷＷＡ－Ｋ－１１６（ＶＢ）
	排水管	——————VP	硬質塩化ビニール管　ＪＩＳ－Ｋ－６７４１（ＶＰ）
	冷媒管	——R——φ	保温付銅管セット　ＪＩＳ－Ｈ－３３００　室内外機間渡り配線共
	ドレン管	——D——VP	硬質塩化ビニール管　ＪＩＳ－Ｋ－６７４２（ＶＰ）
	換気ダクト		亜鉛鉄板製（スパイラルダクト）　板厚　４５０φ以下－０.５mm，５００φ～７００φ－０.６mm
	雨水、雑排水桝	☒	市販溜桝　中耐防臭ＭＨ（ＭＨＡ）共
	雨水、雑排水桝	▦	市販溜桝　格子蓋共
	汚水、雑排水桝	◎	市販塩ビインバート桝（Ｂ型メスみかげ掃除口共）　詳細図参照
	汚水、雑排水桝	◉	市販塩ビインバート桝（Ｔ６型防護ハット及びオスキャップ共）　詳細図参照

別途工事		
	建築工事	雨水立樋　便所内手すり取付用補助教材　ミニキッチンユニット（水栓、排水金物、電気温水器共）
		天井点検口　給気口
	その他	水道加入金　量水器（貸与品）

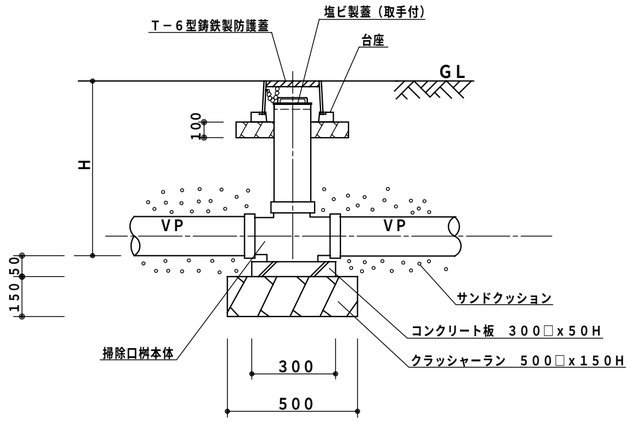
衛生器具表

階	室名	器具名	仕様	数
1	便所	和風兼用便器	Ｃ－７５０ＡＶ、Ｓ－６７０Ｂ	1
1	便所	手すり	Ｔ－１１２ＣＷ２　紙巻器付	1
	屋外	横水栓	Ｔ－２００ＳＵＮ－１３	1

主要機器表

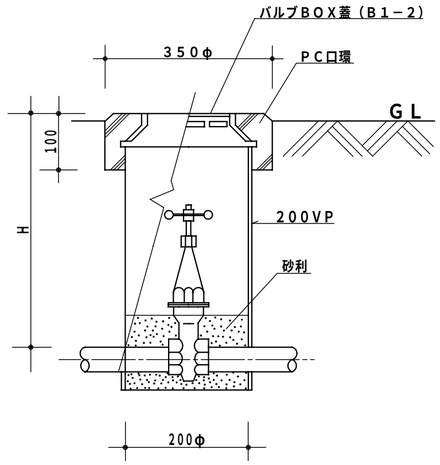
記号	名称	仕様	電源 相	電源 電圧	電源 容量	参考品番	数
ＡＣ－１	冷暖房エアコン	壁掛型　インバーター　ルームエアコンタイプ 冷房能力～３.６Ｋｗ　暖房能力～４.２Ｋｗ リモコン共	1	100	1495w		1
ＥＦ－１	換気扇	壁取付型　有圧式　電動式シャッター付 ３００φ×１０００m³／ｈ×４０Ｐａ 木枠、ステンレス製ウェザーカバー共	1	100	46.5w	EFG-30S （三菱）同等品	1
ＥＦ－２	換気扇	壁取付型　電気式　格子タイプ ２５０φ×６６０m³／ｈ 木枠、ステンレス製ウェザーカバー共	1	100	17w	EX-25EK5-C （三菱）同等品	1
ＥＦ－３	換気扇	天井埋込型　オール金属タイプ １８０φ×２５０m³／ｈ×６０Ｐａ ステンレス製丸形フード共	1	100	31w	VD-18Z7 （三菱）同等品	1
ＥＦ－４	換気扇	パイプファン　８０φ×４０m³／ｈ×１２Ｐａ ステンレス製丸形フード共	1	100	2.2w	V-08P6 （三菱）同等品	2

承認	所長	担当	設計	縮尺	工事名称	笛吹市消防団春日居分団第六部拠点施設　新築工事	M－１
				設計年月日	図面名称	特記仕様書	No.



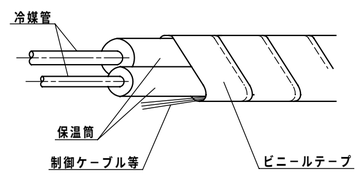
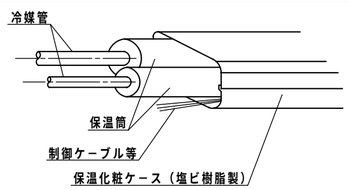
掃除口桝と排水管の接続には、ＶＰ変換ソケットを用いる。

掃除口桝概要図　NO. S

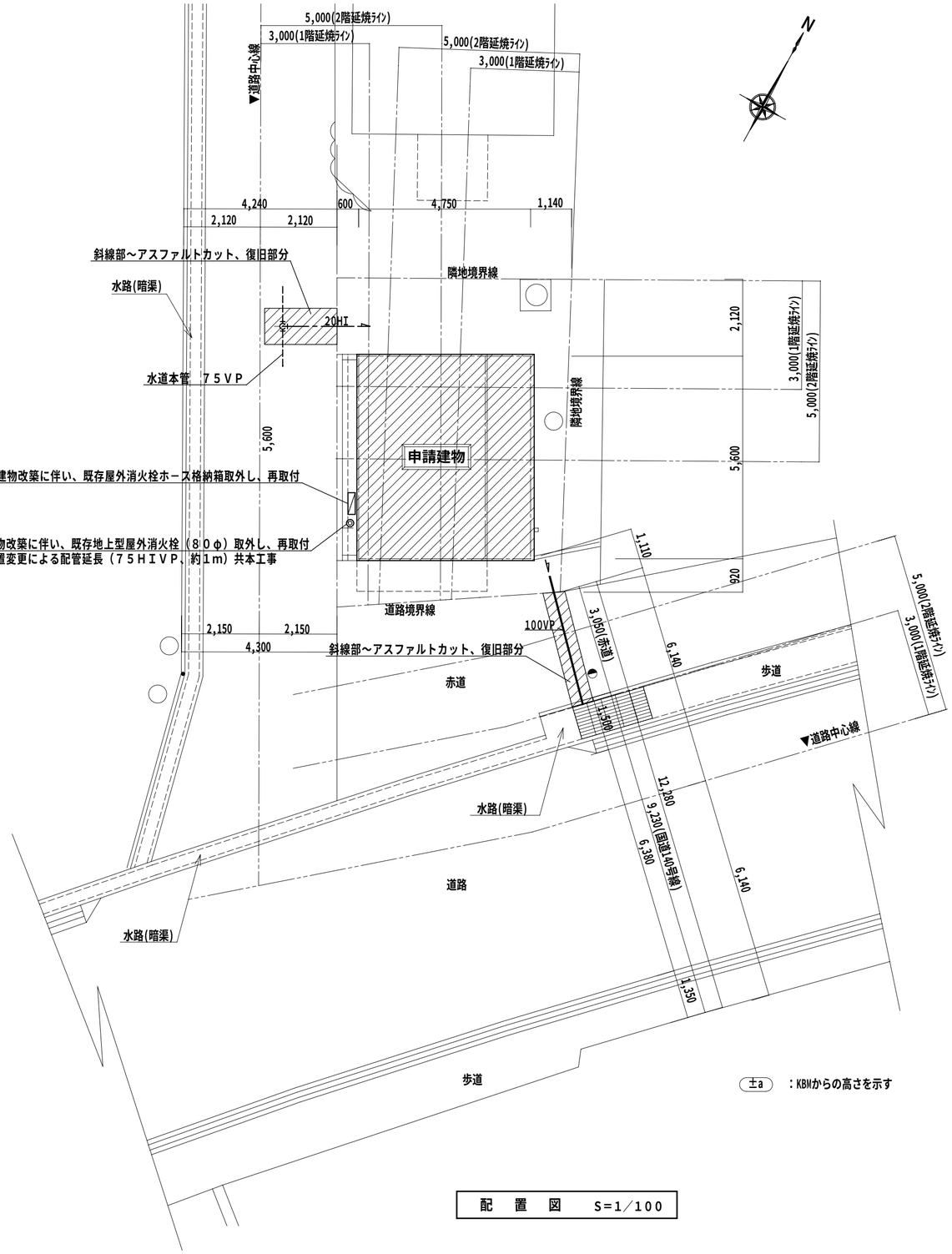


弁ボックス詳細図　NO. S

冷媒管保温施工仕様

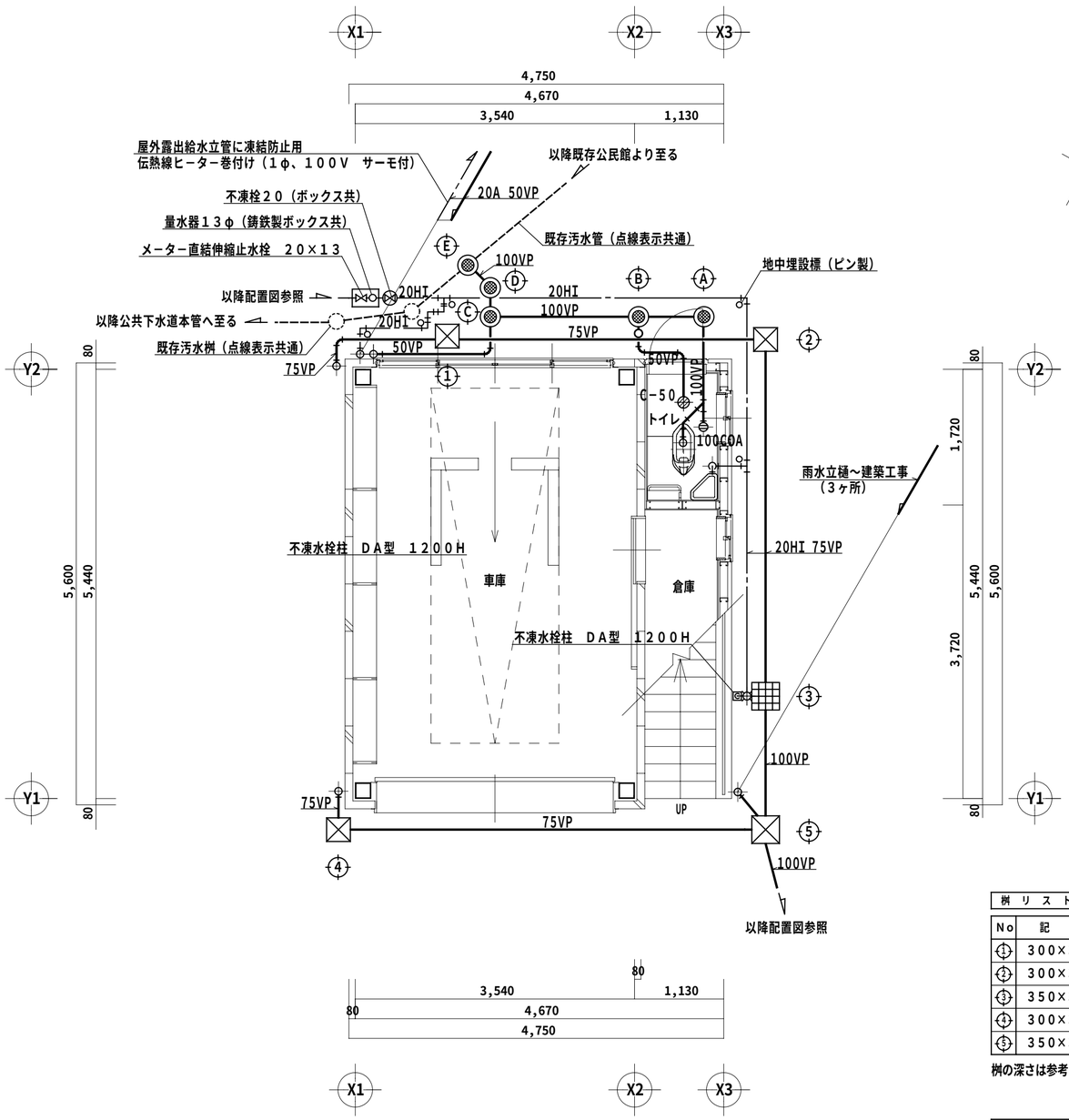
施工箇所	保温の種別	施工例
天井内、ＰＳ内 屋外ラッキング内 その他いんぺい部 機械室内露出部	1．架橋ポリエチレンフォーム保温筒 2．ビニールテープ	
屋外露出部	1．架橋ポリエチレンフォーム保温筒 2．塩ビ樹脂製保温化粧ケース （必要箇所をビス止メ） 3．シーリング	

○ 冷媒管保温厚はガス管２０ｍｍ、液管１０ｍｍとする
（口径９．５２φ以下の液管保温厚は８ｍｍとしても良い）
○ 制御ケーブルは保温筒へ鉄線等で固定する事（ピッチ２Ｍ）

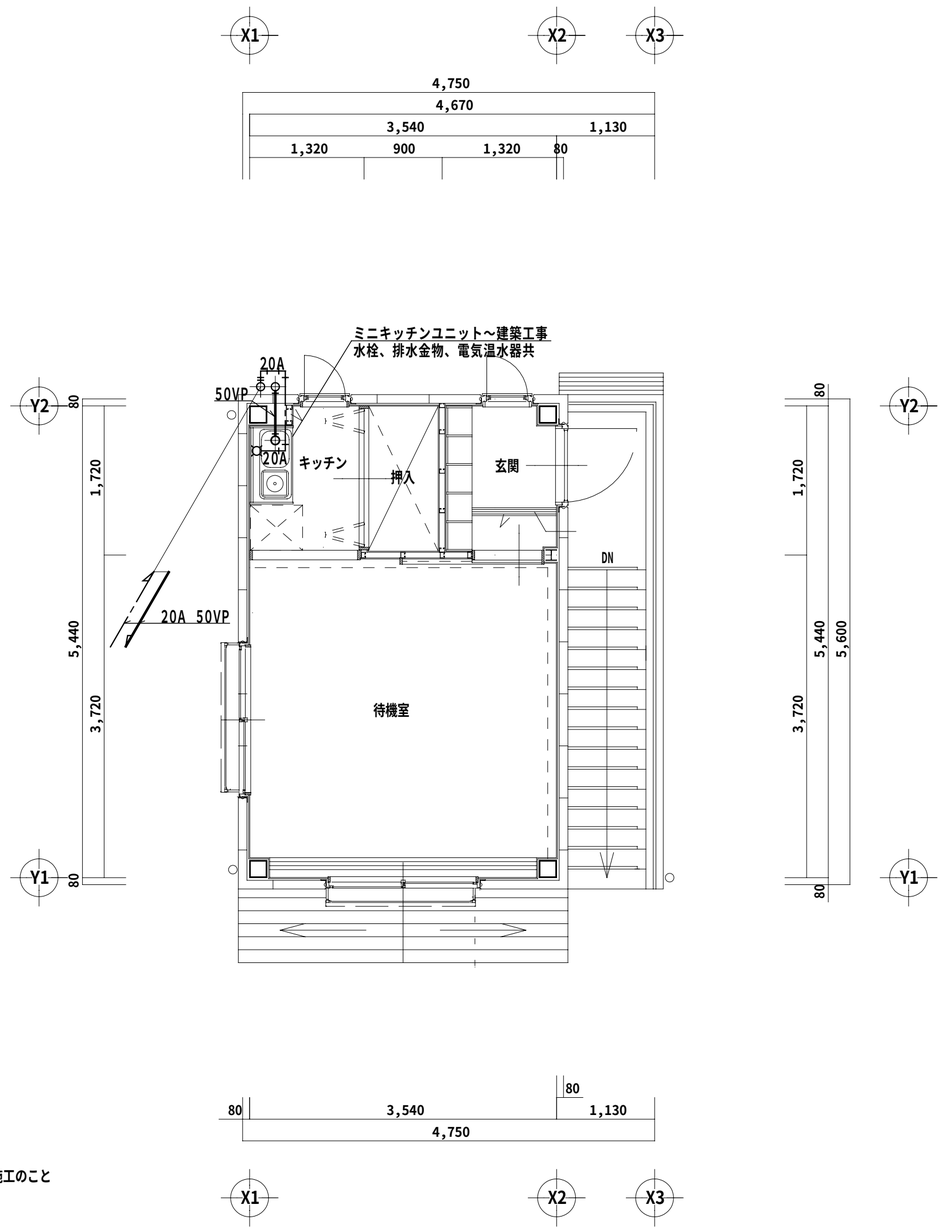


配　置　図　　S=1／100

承認	所長	担当	設計	縮尺 1／100	工事名称	笛吹市消防団春日居分団第六部拠点施設　新築工事	M－2
				設計年月日	図面名称	配　置　図	No.



1 階 衛 生 平 面 図　S=1／50



2 階 衛 生 平 面 図　S=1／50

桝 リ ス ト（ため桝系統）

No	記　号	深 さ	蓋
1	300×300	300	MHA
2	300×300	340	MHA
3	350×350	385	格子蓋
4	300×300	300	MHA
5	350×350	400	MHA

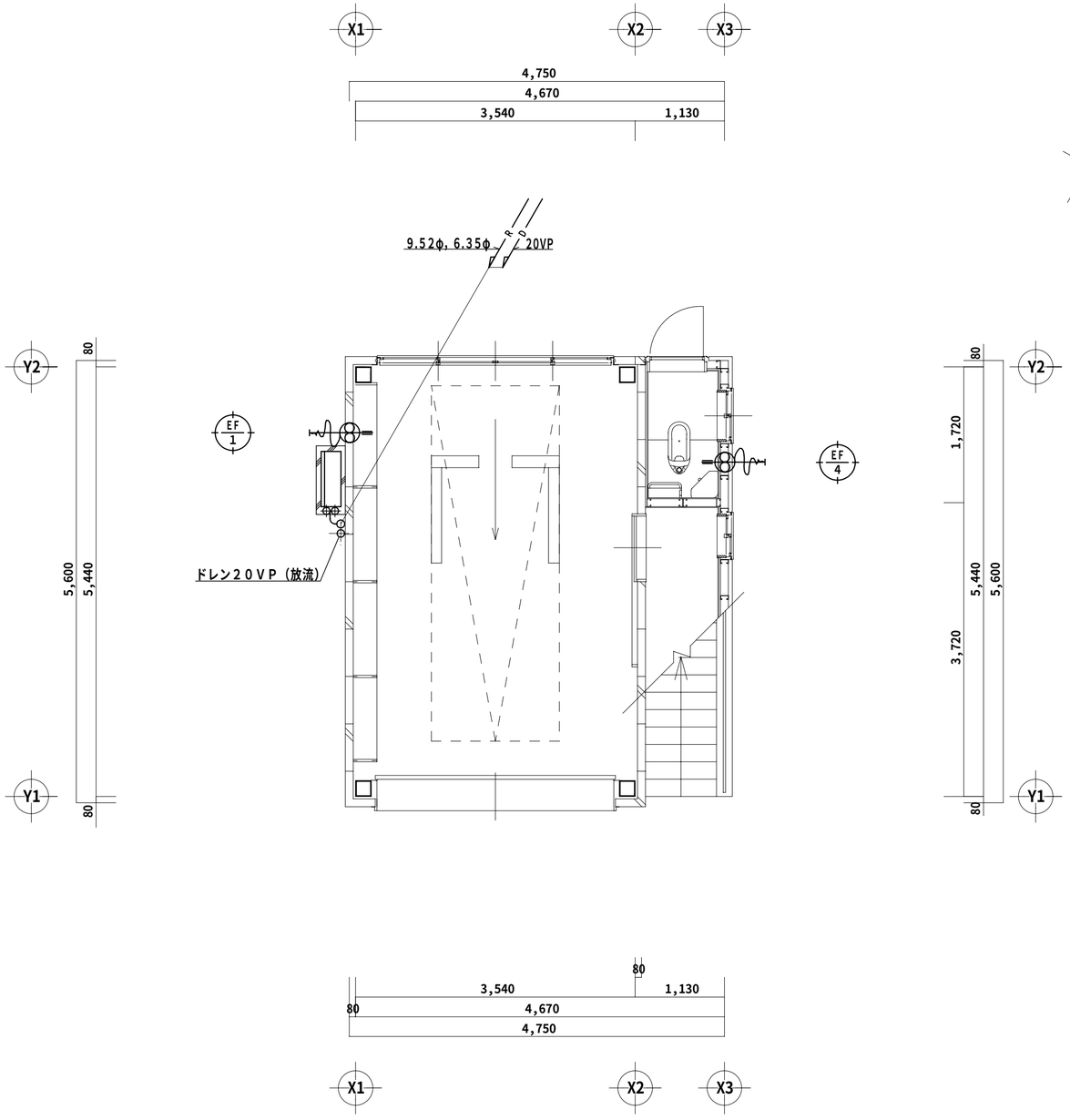
桝の深さは参考とし現場にて施工図作成の上確認後施工のこと

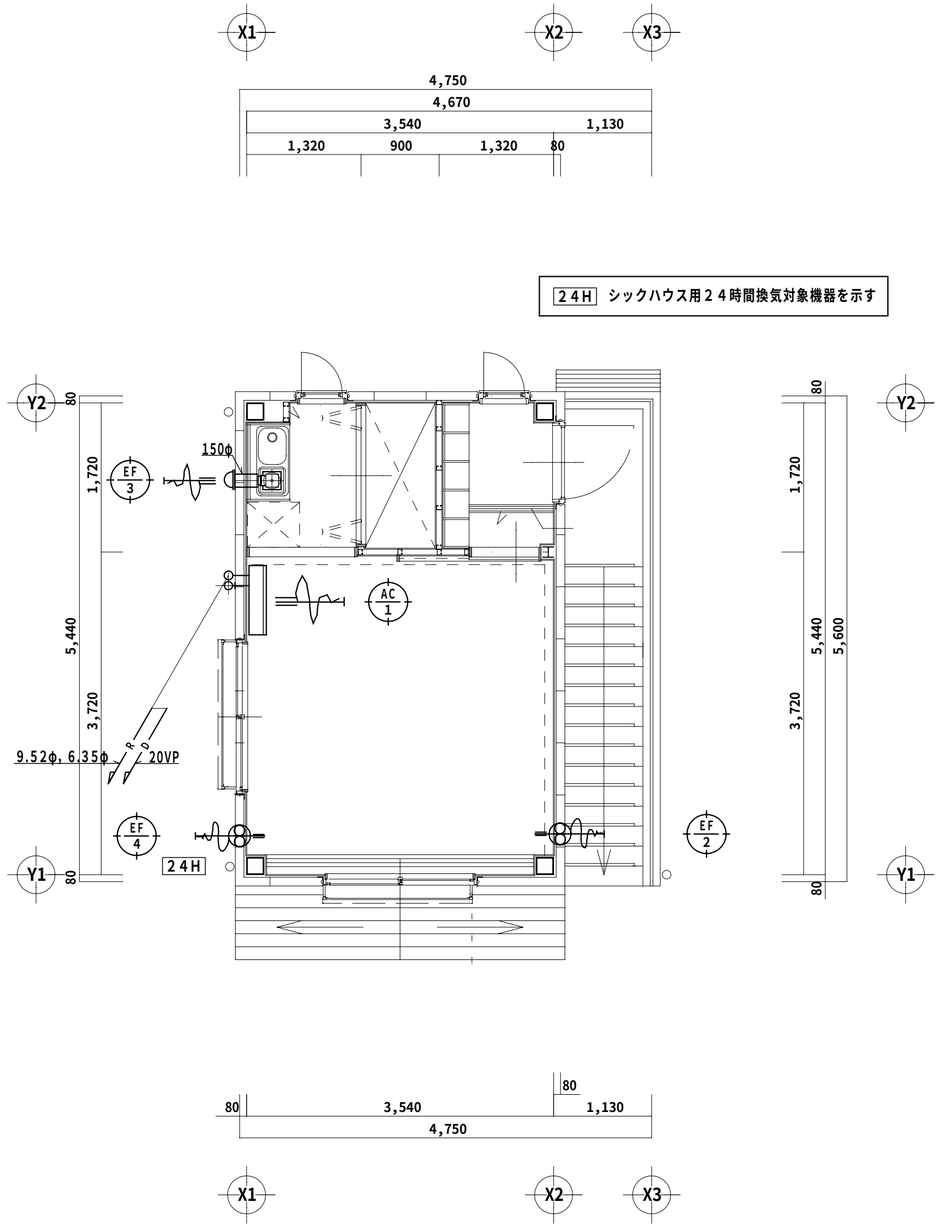
桝 リ ス ト（塩ビ掃除口桝系統）

No	記　号	深 さ	蓋
A	90L 100-150	400	防護蓋
B	UT-100×50P-150	420	防護蓋
C	90Y 100-150	460	防護蓋
D	45L 100-150	470	防護蓋
E	DR90WY 100-150	1200	防護蓋

桝の深さは参考とし現場にて施工図作成の上確認後施工のこと

承認	所長	担当	設計	縮尺 1／50	工事名称	笛吹市消防団春日居分団第六部拠点施設　新築工事	M－3
				設計年月日	図面名称	1、2階衛生平面図	No.





1 階 空 調 平 面 図　S=1／50

2 階 空 調 平 面 図　S=1／50

承認	所長	担当	設計	縮尺 1／50	工事名称 笛吹市消防団春日居分団第六部拠点施設　新築工事	M－4
				設計年月日	図面名称 １、２階空調平面図	No.